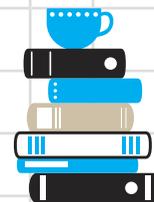


# 事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 下到達



○事業所名	COMPASS下到達		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日	～	令和7年 10月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日	～	令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会を実施しております。 複数の地域に事業所があるため、不明な点などは指定権者に確認し、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	各児童の利用状況について、文章だけでなく療育中の様子を写真でも発信しており、保護者様はスマートフォンなどの端末から療育の様子をご確認いただけます。 これにより、支援の「見える化」を目指しております。	一日の中で、できるだけ多くの療育の様子を写真で発信することで、ご自宅でも児童の活動を一緒に確認できるようにし、各ご家庭で児童の頑張っている様子を共有していただけるよう取り組んでおります。	保護者様への非常時等の対応(緊急時・感染症等)や訓練等を実施していることの周知が十分にできておりません。
3	各児童が楽しく学んでいけるよう、個別の支援内容と、運動療育などの集団でおこなう活動を組み合わせることで、児童にとって安心できる環境づくりに努めております。	タイムスケジュールを職員間で調整し、児童が視覚的に確認しながら行動を切り替えられるよう工夫しております。	さまざまな活動を提供する中で、職員間で振り返りをおこない、一つひとつの活動を評価しながら、内容の質の向上につなげてまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方への非常時等への対応(緊急時・感染症等)や訓練等実施していることの周知ができておりません。	防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容を確認したうえで、ご利用契約時に加え、お便りにて保護者様へ周知・発信してまいります。	防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容を確認のもと、ご利用契約時に加え、お便りにて保護者様へ周知・発信してまいります。
2	発達支援室が1階と2階にありますが、主な活動は1階となっており、エレベーターはなく状況に応じて階段で2階に上がる必要があります。	貨物物件で制約があり、建物の構造上、完全なバリアフリー化は困難であります。	課題そのものの解決が難しいため、利用児童のその日の課題や特性に合わせて1階と2階で支援場所を分けて児童が過ごしやすいように工夫をおこなっております。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営ができておりません。	地域住民の方を招待することに関しては、現在の事業所の体制上では難しいと考えております。	地域でおこなわれているイベント等への参加が、まず取り組める方法であると考えておりますので、そのような情報を集約していきながら、地域の方と関わる機会を設定していけるよう検討してまいります。

